



2023年度 Aコースについて



～ 中学入試のおもしろい！をみつけよう ～

<ねらい>

入試に出題される重要実験を実際に体験し、**入試理科を楽しく・得意分野**にすることにあります。「**楽しいから学びたくなる**」この姿勢は受験を志す子どもたちにとっても大切なことです。中学入学後にも継続する、**本物を学ぶ姿勢の体得**を本コースでは目指しています。感動を伴う体験は、学校や塾などの学習に先駆けて経験しておく方が、お子様に効果的に定着する傾向があります。このため、小学校4年生・5年生の方には月2回の受講をお勧めいたします。6年生の内容も**4年生でも楽しく理解できるように実施**してまいります。

<2023年度 神奈川／東京 中学入試出題傾向 約200校対象> [分析 アインシュタインラボ]

2022年度の入試では再生可能エネルギーの注目や新型コロナウイルス感染拡大による影響もあり、これら事象に関する問題を取り上げる学校も多く出てきています。分野別の出題傾向に関しては、実験・観察を扱う出題が8割を超え、化学分野・物理分野では、昨年に続き**9割以上が実験に関する出題**となりました。内容をみると、例年同様 物理・化学・生物・地学分野は、まんべんなく基本問題として出題されています。また、長文（**ノーベル賞受賞者の書籍の抜粋**など）をよみ、データやグラフを見ながら**実際の現象に当てはめて考えさせる出題**が増えています。注意したいところは、各中学校がそれぞれの**特色を出す応用問題**です。興味深い出題例としては、以下のような出題が上げられます。

- 中学の理科につながる分野「斜面を転がる物体の速度・エネルギーの変化」「火山と地震」「解剖図や写真を使った体内臓器」「キップガス発生装置を使った水の状態変化」など
- 身近な商品「ドライヤー」「プリンタインク」「LED回路」「サイフォン」「パルスオキシメーター」など
- 手羽の解剖を物理のてこ等の力学分野と関連させた複合問題
- コロナウイルスと生物との共通点を記述させる問題

これらの間に対応するためには**自分から面白いと興味をもち、現象と現象を関係付けて調べていく**など、分野の壁や教科書にとらわれない積極的な姿勢が大切になってきます。

2023年度のアインシュタインラボの授業では、小学校で行う基本的な実験はもちろん、**最新の時事問題**にも対応できるよう、各分野の**実験**を取りそろえております。お子様の科学的な考え方が自然に生まれ、**受験およびその後の将来**にきっとお役にたけると自負しております。



卒業生の感想

理科を柱に、受験勉強を進めることができた。
(慶応義塾中等部 合格)



前もっていろいろな実験をしているので、新しい単元にも抵抗がなかった。
(聖光学院中 合格)

ラボの授業の実験と同じようなものが出題されました。リラックスして解くことができました。
(栄光学園合格)

実験をたくさんやったので、イメージがわき記述問題が得意になりました。
(フェリス女学院 合格)

<Aコースのようす>



保護者の感想

「理科嫌い」という子でしたが、実験したことある・見たことあると積極的に問題に取り組むようになりました。アインシュタインラボのおかげで理科の偏差値が上がりました。本当にありがとうございました。
(在籍生 保護者)

知ること、考えてわかっていくことの楽しさを感じてくれればとの思いで貴校に兄弟で通わせていただきました。子供たちはそれぞれの道を歩み始めています。姉は東京外大を卒業して畑違いの医療系の学校に、弟は東大理Ⅲに合格し、現在2年生です。次女は豊島岡女子高で医学部を目指しています。会話にも実験の話が出てきて、子供たちの興味、関心は私が思っている以上に大きな影響があったようです。(卒業生 保護者)

